「つながりを深める人間性」「可能性を引き出す知性」「明日を切り拓く感性」

学校だより

ふじ美が原

令和元年７月２４日
No.5

富士見中学校

壮行演奏

特集：一学期終業式
「一学期を振り返って」

【学校長の話】

K・Yさん、K・Kさん、G・Kさん、三人ともそれぞれに自身の一学期を振り返ってくれました。皆さんも、自分の一学期と重ね合わせながら聴いていたことと思います。

自分で自分を振り返るというのは、とても大切な行為です。努力できたことについては、自分で自分を褒めてあげてほしいですし、もっと頑張った方がよかった、と思うことがあるのなら、それを自分の目標にしていってほしいと思います。皆さんには、今日、通知票も渡されます。そこに示されていることも自分の振り返りに生かして、これからの目標を考えてください。

さて、目標を決めることができたら、後は地道にコツコツと取り組むのみです。一学期の始業式の時（このときは、一年生はまだその場に居ませんでしたが）、イチロー選手の次の言葉を紹介しました。

「特別なことをするために特別なことをするのではない、特別なことをするために普段どおりの当たり前のことをする」

先ほどの表彰の時にも言いましたが、結果として素晴らしいものが得られたのは、それを支える地道な取り組みがあったからに他なりません。これは、勉強、部活、生徒会活動、人との関わり…そうした全てに言えることだと思います。その一問の問題が解けるように考える、その練習メニューに真剣に取り組む、その一回の当番活動を責任を持って行う、友達や先輩・後輩のその一言に耳を傾ける…特別なことではなくても、そうした普通のことを大切にしていって下さい。繰り返しします。結果が特別なことであったとしても、それを支えているのは、日常の中にある、一つ一つの積み重ねです。

今日はもう一つ付け加えます。英語がしっくり来て覚えやすいので、英語のフレーズを伝えます。知っている人、聞いたことがある人もいるかもしれません。これです。

It's never too late to start.

「何かを始めるのに遅すぎることなんてない」という意味です。短く覚えるとしたら、「Never too late　遅すぎることなんてない」、これだけでもよいと思います。

何か行動を起こそうと考えるとき、つい心が過去にとらわれてしまって、「もっと早くからやっていればよかったなぁ…」などと思ってしまうこともあると思います。ですが、この言葉の通り、始めるのに遅すぎることなんてありません。もっと言えば、「始める」のと「始めない」のとでは、「始める」方がよいに決まっています。「始めない」ことは何一つプラスの変化を生み出しません。だから、遅すぎるなどということは、「Never」、決してありません。

明日から夏休みです。そして、二学期へと学校生活は続いていきます。自分の課題を確かめ、目標を作り、それに向かって、日常の取り組みをスタートさせてほしい、そう思っています。

最後に、もう一つだけ話をします。担任の先生や学年の先生からもお話があるかと思いますが、事故や怪我にはくれぐれも気をつけてほしいということです。夏休みになると、ニュースで水の事故が報道されることがあります。また、夏に限らないことですが、交通事故であったり、活動中の怪我が起きたりということもあります。本当に悲しいことですが、最悪の場合は、命が失われてしまうこともあります。

事故に遭った人、怪我を負ってしまった人は、当然のことながら、「今日は事故に遭う予定なんだ」などと思っていたわけでは決してありません。つまり、事故や怪我は予期していないところで起こるということです。そして、事故や怪我は小学生だとか中学生だとかを選んで起こるわけではありません。

やりたいことがあった夏休みが全く違うものに変わってしまいます。どうか事故や怪我にはくれぐれも気をつけて、また元気に八月二十三日に登校してほしいと思っています。以上で私の話を終わります。

一学期を振り返って

一年一部　K・Y

中学校に入学してから、あっという間に四ヶ月が過ぎました。最初はすごく緊張していましたが、少しずつ緊張もほぐれて、友達もできて嬉しかったです。

僕は、中学校に入学して、給食委員として給食の呼びかけを頑張りました。呼びかけは主に、余った給食をみんなに伝えたり、週末には次の週の当番を確認したりしました。しかし、それはなかなかうまくいきませんでした。僕のクラスでは毎回残食がでてしまったり、五週連続で同じグループが給食当番になってしまったりしていました。給食委員としては、うまくできなかったことにがっかりし、悔しかったです。特に、同じグループが給食当番を繰り返してしまう原因を考えたら、

エプロンを着替えている時に話しまし、給食を持ちに行くなっていくことに原因があるのではないかと考えました。人が遅く持ちにる行く人が遅くなってしまうと、配り始めが遅くなってしまうからです。なので、僕は二学期になったら、もっと早く着替えられるように呼びかけをしたいと思います。また、早く食べ始めると回りの人と話す時間が長くできると思います。そうすると、もっと仲良くなれるのではないかと思いました。なので、２学期は給食委員としての活動にもっと力を入れていきたいと思います。

一学期がんばったこと

二年一部　K・K

僕が一学期がんばったことと、反省点を発表します。

一番がんばったことは、活性化委員会の応援です。僕は、一年生のときから活性化委員をやってきました。一年生のときは声が小さかったので、二年生ではちゃんと大きな声で応援したいと思って、活性化委員会に入りました。

壮行会に向けてクラスで練習するときは、クラスのみんなが大きな声で応援してくれることもあって、自分もクラスのみんなに負けていられないと思い、大きな声を出すことができました。

二年生が三年生に向けてサプライズ応援をしたときは、学年を代表してステージの上から応援をリードしました。三年生を前にして、「成功するかな？」という不安と、「失敗できないぞ」というプレッシャーに負けそうになりました。でも、「三年生にがんばってほしい」という思いを伝えるために、全力で応援することができました。

応援のあと、三年生が喜んでくれて、「やって良かった」という気持ちで、心がいっぱいになりました。人に気持ちを伝えることの大切さを学びました。

このように、人前で大きな声で応援することで、できるようになったこともあります。

一つ目は、人前で、自分が伝えたいことを発表できるようになったということです。授業中に手を挙げて発言したり、学年集会で意見を伝えたりすることができるようになりました。二つめは、これはまだ少しですが、率先して動けるようになってきたことです。僕は体育係ですが、教科担任の先生と連絡を取り合ってクラスに伝えることもできたし、清掃を見つけ清掃をすることができるようになりました。今日、ここで意見発表をしていることも、活性化委員として応援したことのおかげかもしれません。

次に、一学期の反省点です。僕は一学期、家庭学習があまりできませんでした。正直、「できないからしょうがない」と思っていました。でも、テストの結果を見て、「このままじゃ、まずいな」と思いました。だから二学期はきちんと家庭学習に取り組んでいきたいと思います。僕は六月からもしっかり取り組んで、剣道の練習にめざしたいです。

また、僕を成長させてくれた応援も、もっと磨きたいです。新人戦の壮行会もあるので、選手に思いを伝えられる応援をしたいと思います。

一学期の後悔と二学期の抱負

三年二部　G・K

今、この終業式にて三学年の一年間のうちの三分の一が終わりました。僕はこの一学期を今までと違うものにしようと努力してきました。僕は今まで中一、中二とあまり努力をしてきたことがありませんでした。そんな中で、三学年になった僕は、ようやく焦り始め、まずはじめに変えようと思ったのが部活と勉強です。

部活ですがその頃、数ヶ月で引退という状況で、この数ヶ月を無駄にしてはいけないと思い、一日も欠かさず行くようにし、自主練も休まぬようにしました。そして先日、試合を終え引退になった時に初めて、今までの二年間に悔いを感じました。この二年間、「自分は何をしていたのか」と家で考えた時に、もう同じような後悔はしたくないと思いました。三年間の最後におとずれる受験という大きな壁を乗り越える時に、同じ後悔はしたくないと考え、勉強に力を入れていこうと決心しました。

まず始めに、今までやってきたことを変える必要があると思い、勉強に対する態度を改めました。授業では、発言やノートの取り方などを変えられたけれど、宿題の面では、まだ自分に甘いところがあると思います。何日かはしっかりとできていても、その後に出さなくなったり、適当であったり、自分で今日ぐらいはいいだろうと思ってしまうことがたまにありました。

そしてこのような状況が続いた頃、一学期の期末テストがありました。テスト結果は、自分が目指した点数に届きませんでした。やっぱり、自分が甘えていたところが点数に反映されたのだと思います。そのことから、やろうとしたことが適当になるなどの自分の甘さを無くしていかないとだめだと再認識し、一番変えなければいけないのは自分自身だと分かりました。やっと自分の目標が決まり、夏休みに入ろうとしています。この三年の夏休みはとても大切なものだと思います。「自分を変えて、なので僕はこの夏休みに受験という壁立を乗り越える」という目標を達成し、二学期からは更に自分の時間が増えるので、自分に厳しく、勉強に取り組んでいきたいです。

◇四月よりお休みをしていた錦織佑太先生ですが、一学期末をもって富士見中学校を辞めることになりました。生徒の皆さん、保護者の皆様にはご心配をおかけいたしました。なお、理科の授業等は、後任の森川先生が今後も行っていきますのでよろしくお願いします。

◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇

中体連大会結果

県大会

陸上	田所夢太郎	共3000m	１１位
	小平　悟	共通800m	予選敗退
	馬場直喜	〃	６位
	名取勇人	共通400m	７位
	窪田翔真	〃	予選敗退
	越川えり	共通800m	予選敗退
	櫻本芽衣	1年走り幅	２７位
水泳	大門真優	50m自由	２７位
		100m自由	２３位
	名取一樹	100mバタ	９位
		200mバタ	５位

女子バレー	１回戦	富士見	０－２	丸ノ内
男子バスケ	１回戦	富士見	61－55	戸倉上山田
	２回戦	富士見	66－68	北御牧
卓球（個人）	１回戦	金澤　梁	３－１	山岸
	２回戦	金澤　梁	１－３	佐藤

吹奏楽コンクール南信地区

A編成　　金賞　（県大会へ）

富士見町立富士見中学校
諏訪郡富士見町富士見四六五四番地
TEL　0266－62－2009
FAX　0266－62－7409
担当　油井　彰